

## 企業の環境への取り組みについて高校生が感じたこと

平成 30 年 11 月 1 日

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 (NACS)

消費者教育委員会 環境グループ

環境学習の一貫として、NACS による環境授業(「ファッションの裏側を知っていますか?」)に続き、様々な業種から10の企業・NPOの協力を得て、3時間目、4時間目に企業等の環境への取り組みの授業を行いました。生徒は希望の企業等の授業を受講しています。本報告書は、企業等の環境への取り組みを紹介する環境授業を実施した後に行ったアンケートから高校生が感じたことを企業別にまとめました。

### アンケート実施概要

調査日:平成30年10月9日

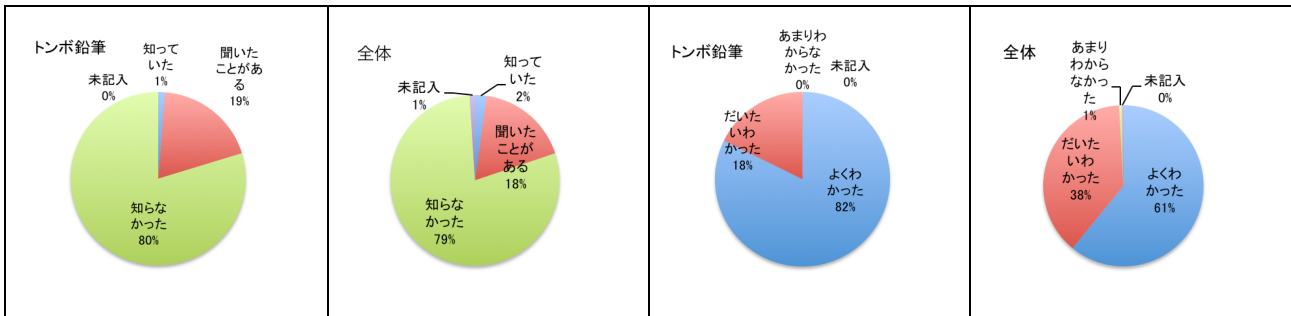
調査対象:神奈川県立海老名高等学校 1年混合クラス 全79名 回収率 100%

協力企業:株式会社トンボ鉛筆

Q1. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について知っていましたか?

Q2. 授業の内容はわかりましたか?

企業等別 (n=79)、全体 (n=691)



Q2で答えた理由を聞かせて下さい。

<よくわかった、だいたいわかった>

図や物を使用する等してわかりやすく説明してくれたため。
文房具の材料が工夫されていることなどが分かった。
エコマークのついている商品などを実際に見ることができて取り組みについて理解しやすかったです。
プラスチックと聞くと化学的なイメージがあり、再利用できないのではないかと考えていたけれど、具体的な製品を使って再利用できるということを教えてくださったから。また、再利用の良い点だけではなく課題となる面までしっかり伝えてくださったから。
黒板に図をはってくれたり、絵を書いて説明してくれたから。
実際に自分で作りながら説明していただいたので、とてもわかりやすかったです。また画像を使いながら丁寧に説明してくださったので、よくわかりました。
説明がすごく丁寧で、実際に組み立ててみたり、分かりやすかった。
実際にのりを組み立てたりして分かりやすかった。
どういふうに文房具が作られるときに、リサイクルが行われているかがわかったから。

<p>プラスチックを再利用したテープのりを組み立てたり、リサイクル鉛筆を実際に見たりして、とても身近にあると思えたから。</p>
<p>実際にテープのりを組み立てたりして、どの部分が再生なのか知ることができたり、冊子からも活動について理解できた。</p>
<p>文房具が作られるとき、またその材料を手に入れるまでの間、どのようなところに環境を考えているのかを知ることができたから。</p>
<p>もともとトンボ鉛筆には、興味があったし、会社の方が分かりやすく教えてくれたから。</p>
<p>ていねいな説明と実物を用意してくれたこと。</p>
<p>プラの製品をリサイクルしているのは知っていたけど、木材を決まったところを使っているのは知らなかった。</p>
<p>環境に悪くないように再生紙などを活用していたから。</p>
<p>最初に実際に再生プラスチックの製品を手にとれたので説明がイメージしやすかった。イラストも見やすかった。</p>
<p>実際に PIT リトライを手にしてみて、自分でも入れることくらいはできるから、詰め替え用を買うことで環境を少しでも良くできるとわかったから。</p>
<p>実際に商品を組み立てながら進んだのでとても分かりやすかったです。他にも森林認証の説明の際には鉛筆の箱を見せてくださったため頭に入ってきやすかったです。</p>
<p>実際に組み立てたり、物を見たりして分かりやすかった。</p>
<p>難しい話が少なくて頭に入って来やすかった。</p>
<p>実際にモノをつくりながら説明があつて、とても分かりやすかつたし楽しかつた。</p>
<p>実演を交えて説明してくれたから。</p>
<p>図の使い方がとても上手でわかりやすかつた。</p>
<p>実際に再生プラスチックに触れて体験できたから。</p>
<p>パワーポイントとかはなかつたけど体験型がとても楽しめた。説明もわかりやすかつたです。</p>
<p>実際の商品を組み立てさせていただいたり、実際の商品を見させていただいたりしたからとてもわかりやすかつた。</p>
<p>図があつたり、実際に組み立てたりしたからわかりやすかつた。</p>
<p>体験しながら話を聞いたから。</p>
<p>トンボ鉛筆の取り組んでいることを説明してくれたため。</p>
<p>実際に再生プラスチックの商品を自分の手で作ることで再利用を身近に感じられた。黒板を使って重要なところは大きな声で言ってくれたので理解が深まつた。</p>
<p>写真と絵と、実際ものづくりをしてよくわかつた。</p>
<p>黒板にイラストを貼ったり実際の文房具を使っていたりしたのでわかりやすかつた。</p>
<p>説明をしてから実物を見たり、作業で作つたものに授業内容と結び付けて話していたから。</p>
<p>環境とは直接関係あるようには見えなかつたけど、このテープのりのプラスチックは再生だつたり、知らないところでたくさん環境の取組みをしているんだなと思ひました。</p>
<p>実際に物を組み立てて、つくれ方や原材料など詳しく教えてもらったので良かつた。</p>
<p>テープのりを作つたり、ダース箱のマークを見たり、体験することが多かつたのでわかりやすかつたし、楽しかつたです。</p>
<p>再生されたプラスチックは、していくと強度が下がることがわかつた。リサイクルにも限度があるんだなと思ひました。</p>
<p>実際に組み立てをさせていただいてとてもわかりやすかつたです。いつも使っている文具で、とても触れやすい内容でした。</p>

実際にテープのりを組み立てたり、鉛筆の作り方などを実際の本などを見せて教えていただいたので、とても楽しく授業を受けることができました。また1つの鉛筆でも環境を守る工夫がされていることが分かりました。
プラスチックを再利用されていてゴミを減らすことができるからいいと思った。
物を手でさわって、よりリアリティが高くなってよかった。
お話だけでなく、実際に商品を組み立てて、どの部分がリサイクルされているのかなどが理解しやすかった。またカタログでも、どんな取り組みをしているかを詳しく書いてあったから。
実際に商品まで持ってきてくれたので、どの部分がリサイクルできるか、どの部分がどうなって作られているのかが、よりよく知ることができたから。
実際に商品を組み立てて、それを通してこの商品の何がエコなのかを説明してくれたから。
文房具の環境への取り組みは、全然想像がつかなかったけど、リサイクルなどで取り組んでいる、ということを知りやすくてよかった。
実際にテープのりを組み立てる事をさせてもらったり、クイズをしたり、資料を見たりしていたのでとても分かりやすかった。
テープのりのどこに環境への取り組みがあるのかよく分かったから。
絵があったり実際に作ったりして分かりやすかった。
実際の商品を作って、楽しく学べた。
図とかもあったし、資料や例が多くて分かりやすかった。
黒板に図などを貼って説明してくれたので、イメージもつきやすかった。
話が聞きやすくて良かったです。
具体的な問題に対する環境への取り組みをおしえてもらった。その取り組みの不完全であることも知れた。
説明が分かりやすかったから。
実物や写真、絵などでイメージして考えることができたから。組み立ての説明も的確にしてくれてとても分かりやすかったから。
実際に組み立てを体験したあとのエコについての説明は、とても分かりやすかった。
分かりやすかった。
森林認証に登録された木を使っていたり、プラスチックは一部だけリサイクルして売っていたりするから。
黒板に商品の調達から廃棄までの流れの図を貼ってあったり、テープのりの組み立ての際に部品の向きなどを書いてあったりして分かりやすかった。また製造過程の途中の鉛筆が見れたりしてイメージが湧きやすかった。
口で言うだけでなく、資料もあったから。
今回私たちが作ったテープのりの透明の部分も再利用だということがわかったし、木から作ったりしていることがよく分かったから。
図や実際の組み立てによる説明がわかりやすかった。
図、絵を使っていたから。
トンボ鉛筆さんが環境にやさしいものを作っているから。例:ボールペンだけどインクが切れるまでしっかりと使えるものを作るなど。
原材料調達の時に森林認証されたものから鉛筆を作っていたり、僕たちが作った PIT のテープのりは、外側のプラスチックが壊れるまで何回も使えてエコになることなどトンボさんが取り組んでいることを知ったから。
話している内容も分かりやすく、さらに実際に作ることもできて楽しく講話を受けられました。
なるほど、と思えることがいくつかあったから。
黒板に図を貼って話してくれたのが分かりやすかった。実際に組み立ててみて色々な部品があることがわかった。こんなに小さい物でも、部品はたくさん必要なことがわかった。

<p>実際に商品を組み立てたり見せたりして、触れさせることで理解が深めやすくなっていたから。イラスト等を黒板に貼り続けることで印象に残りやすかったが、同じイラストで違う話をする、イラストを見た時に思い出にくく、話を頭に記憶しにくいと思ったから。</p>
<p>確かによく考えると、鉛筆には木が使われていたり、のりテにはプラスチックが使われている。再生可能なものを使ったり、つめかえができるものにした、森林認証という認証による持続可能なものにしていくことが大切だと分かったから。</p>
<p>実際にテープのりを組み立ててみて、どのような部品が使われているか分かり、どの部品が再利用されているか知ることができたから。</p>
<p>廃棄までいかないように、つめ替え用にしたり、プラスチックも地球にやさしいものであったり環境に優しいなど思った。実際にテープのりを作ったことで身近に感じられた。</p>
<p>トンボ鉛筆では持続可能な森林から鉛筆を作っていて、それを分かりやすいように PEFC というマークで記しているから。</p>
<p>紙や図などを使って説明してくれたので分かりやすかった。</p>
<p>図があつて分かりやすかったから。</p>
<p>実際に自分で作ってみる体験を通して、細かい部品がどれくらい、どんな形があるのか知れて、さらに環境への配慮がどんなところにあるのか知れたから。</p>

<あまりわからなかった>

該当なし

**Q 3. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について感想などを自由に書いてください。**

<p>様々なアイデアを出して、できるだけ資源を大切にしているというのが伝わって来た。これからは文房具を必要分買いたい。</p>
<p>これからは環境にやさしいものや、つめ替えのものなどを買って自分も環境のために何かできたらいいなと思いました。</p>
<p>テープのりなどは、いつも使い切りのものを買っていたけど、これからは繰り返し使えるものを買おうと思いました。環境に配慮したものも積極的に使いたいです。</p>
<p>消しゴムや鉛筆はどうしても最後まで使わずに捨ててしまうことが今まであったけれど、補助する道具などを使ってもっと大切に最後まで使おうと思った。森林認証という言葉は耳にするだけで意味はあまり知らなかった、この言葉と森林の保護が大きく関わっていると知って驚いた。</p>
<p>プラスチックが再利用されているのは知っていたけれど、どの部分に使われているかをテープのりで知ることができて良かったです。</p>
<p>いくつかの部品が再利用のプラスチックでできていてすごいなと思いました。今日作ったやつも中身だけ交換することができるそうなので、ぜひそうしたいなと思います。また、木を大切にしている活動もされていて、すごいなと思いました。</p>
<p>原材料調達で環境について取り組んでいることがわかった。文具も詰め替え式にすることでごみを減らしている。自分もできるだけごみを増やさないように、買う時は環境に良いものや長く使えるものを選ぶようにしたい。</p>
<p>よく聞いていた中身だけ変えるということは大切なんだなとあらためて思った。</p>
<p>鉛筆の木とかでも、とても環境に優しいような感じで、プラスチックなどもリサイクルできないかなどいろいろな対策があつて、たった文房具 1 個だけなのにすごいなと思いました。</p>

<p>プラスチックや木などをリサイクルしたものを使っているにもかかわらず、しっかり使えて便利なものが多く、すごいと思った。トンボ鉛筆は有名だけど、社員が意外と少なくて驚いた。</p>
<p>企業が環境への取り組みを行っているから、消費者側は、それに応えるようにしなければならないと改めて感じた。</p>
<p>捨てられてしまったプラスチックは、もう一度リサイクルできると思っていたけど、商品の品質にも関わるためできないことを知った。トンボ鉛筆は、そこではなくリデュースに視点を変えていていいと思った。</p>
<p>社会全体が取り組みれば効果が出ると思う。個人之力では限界がある。</p>
<p>よくトンボ鉛筆さんの商品でエコマークがついているのを目にしたことがあったので、環境への取り組みがなされていることは知っていました。しかし、どんなことをしているかまでは知らなかったので今日、知れてよかったです。作ったテープのりもありがたく使わせてもらって、なくなったら中身を買いなおしたいです。</p>
<p>森林認証を使っているのは知らなかった。</p>
<p>トンボ鉛筆などの企業は、環境への取り組みをしているイメージがなかったが、今回の授業でできる限りのことを積極的に行っているのだと思った。</p>
<p>私たちがいい物を買えばいい物が売れて世の中にいい物があふれるっていうのは、よく考えたら当たり前だけどびっくりしました。今使えればいいかだけでなく未来のことを思っじっくり考えて文房具を購入したいです。</p>
<p>1つの商品ができるまでの道を理解して、環境を考えたら最後まで使うことが本当に大切だと感じました。</p>
<p>「あまり考えずに買うとゴミになりやすい、しっかり考えてから買うとより良い商品を生み出すことにつながる」というお話がとても印象に残りました。つつい何も考えずに文房具を買ってしまいがちですが、これからは文房具はもちろん、その他いろいろな物も少し考えてから買おうと思いました。</p>
<p>楽しかった。鉛筆の作り方知らなかったし、木のことをはじめ知った。</p>
<p>組み立てができるとは思わなかったので楽しかった。再利用のプラスチックも普段使っているものと変わらなかった。もっと再利用回数がふえたら良いと思った。どんな物を買うときも衝動買いしちゃいけないと思った。えんぴつが芯がサンドされてははずれたりしないのがすごいと思った。</p>
<p>つめかえ可能なものを積極的に選んでいこうと思った。</p>
<p>今回組み立てた「PIT リトライ」は再生プラスチックを使っていて積極的にリサイクルしていることがわかった。また鉛筆に使われている木は全て外国産のものということを知っておどろいた。</p>
<p>環境のために自分たちができることがたくさんあることを改めて思った。</p>
<p>リサイクルされた再生プラスチックを使ったテープのりを組み立てるのは楽しかった。</p>
<p>リサイクルの利点だけでなく悪い点も教えてくださって勉強になりました。森林認証のことはじめて聞いたし、環境に対して隅々まで気を使っていることが実感できました。私たちがテープのりを使う時、買う時は、つめ替えタイプのもを使ったり適当に選ばずに考えてから買ったりして無駄を減らしていきたいです。</p>
<p>この授業を受けて、文房具は環境のことを考えて作られているのだなと思った。</p>
<p>文具はプラスチックで作られているものが多いから、リサイクルをしているというイメージがあったけれど、つめかえタイプなどもあり、リユースしていたり、森林認証など原材料の調達などで環境を考えていて、使えなくなったら捨ててしまうものを選ばず、何回か使えるものを選んだり、壊れたり使えなくなってしまうまで使いきれものを選ぶと思った。</p>
<p>1つの小さな商品でも、たくさんの部品が使われていて、使用する材料も多いことが分かった。</p>
<p>PIT リトライテープのりを実際に組み立ててみたりして楽しかったし、これを捨てずに詰め替えを使うことや再生プラスチックのことについても知れたのでよかった。リサイクルにも限界があるので詰め替えをしっかり使おうと思った。</p>

<p>中身だけ交換できる製品は、環境にも経済的にも良いので、とても良いと思った。文房具に関しては、自分が使用している時にできることもあったので、長い間大切に使いたいと思った。文房具以外でも商品を買う時はよく考えて買いたいと思った。</p>
<p>リサイクルにも限度がある、というのははじめて知った。消しゴムなど途中でなくしてしまったりして最後までなかなか使いきれないのでしっかり使おうと思う。</p>
<p>文房具は身近にあるものなので環境について考えられるいい機会になったと思う。企業はただお金になればいいと考えているのではなく、環境についても考えて地球にやさしい商品を作っていていいと思った。</p>
<p>自分たちが今まで使ってきたトンボ鉛筆の物には、ゴミが少しでも減る工夫がされていることを今日の作業や実際の鉛筆を見てみることで知ることができて良かったです。</p>
<p>テープのりを作るのさえ結構大変だったのに、これを数千個つくるのは大変だなと思いました。1つなら楽しくできました。私も好きなことを仕事にできたらいいなと思いました。何か買う時はきちんと選んで買おうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>文房具はすぐにすてしまうので、これからは再利用して、また使えるようにしようと思う。森林にやさしい文房具を使っていきたい。</p>
<p>テープのりをつくって楽しかったですが、この作業を仕事にしている人たちはどのような人たちなのか気になりました。またリサイクルをしても品質が落ちてしまうということに驚きました。リサイクルすれば、何でも新品になるものだと思っていました。今日の話聞いて、今日から文具を買うときは、適当に買うのではなく、しっかり考えて鉛筆の本を買えたら良いなと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>文房具が詰め替え用もできているので、これからは、詰め替え用を活用していきたいと思った。環境にやさしいものか、あまり見ていなかったけど原材料とかを考えると、自分でも環境に対して気をつけれることがあったので、これから気をつけていきたいと思う。</p>
<p>文具に使われているプラスチックは再生可能エネルギーを使っていることを初めて知りました。消費者にわたった後はゴミになる可能性の方が高いので、詰めかえ用などを使ってゴミをへらし環境をよりよくしていきたいです。</p>
<p>文具の中でも中身の取り替えをすることができ、ごみを減らすことができる商品が増えていることを知ったので、自分もなるべく中身の取り替えができるものを買ったり、その商品を長く使えるような工夫をして、環境を身近なところから守れるようにしていきたいと思います。</p>
<p>ペンとかを使い切ったら中身だけを替えていこうと思った。</p>
<p>いつも適当に買っている文房具でも、少しでも環境を変えようとたくさんの努力が生み出したものであるということが分かってよかった。</p>
<p>今回の授業で、よく使うトンボ鉛筆の文具にも環境面を考えたさまざまな取り組みがされていることがわかりました。プラスチックの再利用はもちろん、商品を考えるときも詰めかえられるものなど、すぐに捨てられないようなものを考えたり、環境のことを考えているものづくりだと思いました。これからは私も文具を大切に使い、詰めかえできるものなどを買って長く使おうと思います。</p>
<p>テープのりを、実際に組み立ててみて仕組みを知ることができた。また環境への取り組みも、より積極的に取り組んでいるんだなあと思った。</p>
<p>従業員が少ない中で、様々な環境への配慮がされているところに感心しました。トンボ鉛筆さんには、よくお世話になっているのでお話が聞けて良かったです。</p>
<p>普段、文房具を買うときは、文房具の使いやすさだけで選んでいたけど、今日学んだことも考えてから買うようにしたい。</p>

<p>トンボ鉛筆では特に森林に危害を及ぼさないように意識しているんだな、ということがよく分かった。また商品も1回使い終わっても、中身を替えれば使えるようにしている工夫もされていて、簡単にゴミにならないのいいと思った。</p>
<p>文具も環境を考えて商品を作っていることに驚いた。環境問題を考えて作られた商品が少しでも売れるように、そういう商品を買っていきたいと思った。</p>
<p>プラスチックの再利用や、何回も使えるものを作ることで環境へ取り組んでいることを知った。次に文房具を買うときは、環境にやさしい商品を買おうと思った。</p>
<p>自分でテープのりを組み立てたのが楽しかった。プラスチックは何度も繰り返して使えないことに驚いた。</p>
<p>リサイクルなど、「作ること」だけでなく環境にも配慮されていた。</p>
<p>色々なことを考えて企業は製品づくりに務めているのだと思った。私も意識していきたい。</p>
<p>実際にテープのりを組み立てて、どこの部品が環境にやさしいものだとかが分かったし、とても楽しかったです。</p>
<p>今回の授業を聞いて企業がしっかりと環境について考えて動いているということがよく分かった。</p>
<p>取り組みがよく分かったが、それが売れているのが少ないと聞き、何でだと思った。</p>
<p>トンボ鉛筆は、鉛筆やプラスチックの再利用をしていることが分かったが、自分たちが消費しないと再利用されないことが分かった。</p>
<p>鉛筆を作るための木は大切に守られていて伐採するのにもルールがいることを初めて知った。テープのりの部品のプラスチックもすべて再生できると思っていたけど、できないものもあるので大切にしたい。</p>
<p>消費者がいてこそ企業が動き出せるということがわかった。</p>
<p>新品を買うべきではない。</p>
<p>私もトンボの色鉛筆とのりを使っていますが、森林認証登録された木を使っていたことなどは知らなかったので、これから積極的に使って行こうと思います。修正テープのふたの色が可愛くて気に入りました！ありがとうございました！</p>
<p>再生プラスチックを使用しているとは知らなかったので、製品そのものに環境への配慮がされていてすごいと思った。企業側も長持ちする商品を作ることで、私たちがすぐにゴミにしないようにしている、と聞いてなるほどと思った。森林認証製品を利用して世界の森林保全に貢献しているのを知り、色々な方面から環境への取り組みがなされていてすばらしいと思った。</p>
<p>自分が商品を選ぶとき、今までは使いやすさを重視していたけど、これからは自然への優しさも考えて選んでいこうと思った。特に詰め替えができる商品が多いのいいと思った。</p>
<p>トンボ鉛筆の社員が400人という思ったより少ない人数で、それなのに全国的に有名な企業になっていてすごいと思いました。実際にテープのりを組み立ててみて楽しかったし、透明部分が再利用だとわかれてよかった。</p>
<p>1人1人の動きが小さくても、それで全体が変わるのはすごい。</p>
<p>商品のこういった所に環境にやさしい点があるということを知ることができて、とても良い機会になった。</p>
<p>リサイクルしたり、詰め替えのものにしたり、環境に対しての取り組みはとてもいいと思った。また、鉛筆よりもシャーペンの方がごみが減るなと思った。</p>
<p>聞いたことがないことがあったので、とても勉強になった。また、のりの詰め替えなども外のカバーを捨てないで済むのいいなと思った。</p>
<p>再生プラスチックを使ってリサイクルをしているが、リサイクルした後はゴミになり永久にうまくまわらないことを知った。物を買うときに、よく考えて使い切るまで使う！</p>
<p>リサイクルは難しいのでリユースに取り組んでいる、ということを知って自分もつめかえ式の文房具を買って再利用に努めようと思いました。消しゴムとかもなかなか使いきれずに捨ててしまうことが多かったので、きちんと使い切ってから新しいものを買おうと思います。</p>

<p>売ることだけではなく、環境のこともしっかり考えているんだなと思った。</p>
<p>普段なにげなく、つめかえの中身を交換したりしているけど、それも環境への取組みの1つだと思った。文具1つでも、これからはしっかりと考えて買い、長く使うようにしたいと思いました。</p>
<p>主張を途中であまり変えずに話していたので「消費者によるゴミを減らす」という主張が心に残った。ですが日本の一般ゴミは産業ゴミの約10分の1なので、一般ゴミを減らすことも大切ですが、それと共に産業ゴミも減らしていけないと一向に減る気配はないだろうと思いました。</p>
<p>企業側がこんなにも努力をして、環境に取り組んでいるから、自分たちが考え方を変えるべきだと思った。長く使えるよう、もっと大切に使いたい。</p>
<p>プラスチックが再利用されていることを知りました。テープのりは、つめ替え用ではないものを使っていることが多いので使い終わったら捨てていたけど、なるべくこれからはつめ替え用を買うようにするなど環境のことを考えていこうと思います。</p>
<p>エコマークがついていたり、話を聞いたりして、環境へいろいろな方法で取り組んでいるんだなと思った。文房具もエコに使えるように、使い方を改めてみようと感じた。</p>
<p>私たち消費者のちょっとした行為が企業側の努力につながっていくから、値段も大切だけど裏面の表示とかそういうところにも目を配れたらいいなと思う。</p>
<p>環境にやさしいだけでなく、デザインや使いやすさにも気を使って考えていて、努力が必要な仕事かと思った。自分も商品についてもっと関心を持って買い物しようと思う。</p>
<p>実際にテープのりを組み立てる機会があってよかったです。トンボと言えば鉛筆で、その鉛筆の作り方が、実物を見せてもらったりと、色々分かりやすくてよかったです。</p>
<p>消費者の立場からしたら「環境に配慮したものにする」というのは優先順位が低かったけれど、企業側の努力を知った後だと消費者も企業と協力することが大切だと分かった。</p>

以上